



転移性肺腫瘍に対する外科治療

—薬物療法進歩の時代における肺転移切除の役割—

- 日時 2026年7月22日（水）18:30～19:30
- 場所 呉医療センター
管理棟4階 地域医療研修センター1.2
- 座長 呉医療センター
外科系診療部長 中央手術部長
外科医長
首藤 毅
- 講師 呉医療センター
呼吸器外科科長
三村 剛史



近年、免疫チェックポイント阻害薬をはじめとした薬物療法の進歩により、癌患者さんの予後は大きく改善してきています。その一方で、長期経過中に肺転移を来し、外科的切除を検討する症例も増えています。本講演では、転移性肺腫瘍に対する外科治療の適応や考え方について概説するとともに、当院で行っている4K3D内視鏡手術やロボット支援手術を含めた低侵襲治療についてもお話しします。



◆当講演会は、院内外を問わず、医療関係者すべての方を対象とさせていただきます。お気軽にご参加ください。

